



---

# 創発的研究支援事業 公募概要説明

概要のみの紹介です。  
応募にあたっては公募要領をお読みください。

国立研究開発法人科学技術振興機構  
創発的研究支援事業推進室

---

---

「研究力向上改革2019」に基づき、既存の枠組みにとらわれない自由で挑戦的・融合的な研究を、研究者が研究に専念できる研究環境を確保しつつ支援

- ✓ 世界でイノベーション覇権争いが繰り広げられている中、我が国の研究力は危機にある。人材、資金、環境について、大学、国研、産業界を巻き込み、制度的課題にまで踏み込んだ改革を進めていく必要がある。特に、日本が有する基礎研究力は潜在的には高く、破壊的イノベーションにつながるシーズ創出への貢献が期待される。〈統合イノベーション戦略2019（令和元年6月閣議決定）〉
- ✓ 今後の政府研究開発投資の方向性として、Society 5.0の実現を目標とした「戦略的研究」と、特定の課題や短期目標を設定せず、多様性と融合によって破壊的イノベーションの創出を目指す「創発的研究」の2つの研究に注力すべきである。  
〈日本経済団体連合会提言（平成31年4月）〉

## 【概略】

- 大学等における独立した／独立が見込まれる研究者からの挑戦的な研究構想を公募
- 審査・採択後、研究者の裁量を最大限確保
- 各研究者が所属する大学等の支援のもと、創発的研究の遂行にふさわしい適切な研究環境を確保

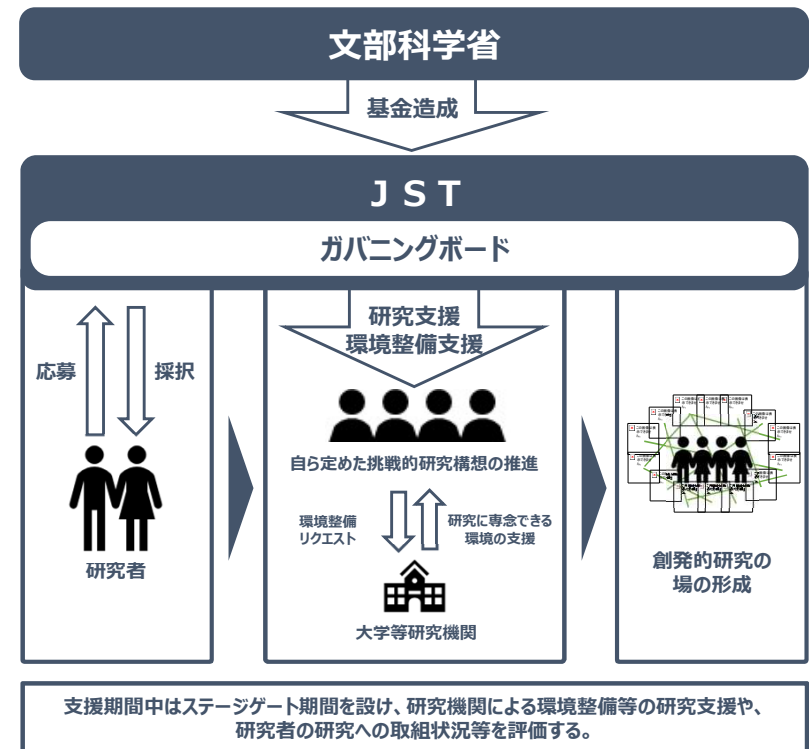
## 【予算・期間】

- 支援単価：700万円／年（平均）＋間接経費
- 支援期間：7年間（最長10年間まで延長可）  
※事務負担の軽減等による研究時間の確保に資する用途など、分野や研究者の置かれた環境に合わせて機動的に運用。  
支援期間中、研究者が所属先を変更した場合も支援の継続を可能とし、研究者の流動性を確保。
- 別途、研究環境改善のための追加的な支援も実施

## 【特徴】

- ① 若手を中心とした多様な研究人材を対象に、国際通用性・ポテンシャルのある研究者の結集と融合
- ② 研究者が創発的研究に集中できる研究環境の確保
- ③ 上記①②を通じて、研究者が、生き活きと、自ら定めた挑戦的な研究構想を推進

## 【事業スキーム】



→ 優れた人材の意欲と研究時間を最大化し、破壊的イノベーションにつながる成果を創出



# 2020年度公募スケジュール

研究提案の募集開始	<u>2020年6月1日（月）</u>
研究提案の受付締切 (e-Radによる受付期限日時)	<u>7月31日（金）午前12時（正午）</u> <u>&lt;厳守&gt;</u>
書類選考期間	8月上旬～11月中旬
面接日程の通知	9月頃（予定）
面接対象者への通知	11月下旬～12月上旬
面接選考期間	12月上旬～2021年1月中旬
選定課題の 通知・発表	12月下旬以降順次通知・発表
研究開始	2021年1月以降順次開始



# 応募における注意事項

---

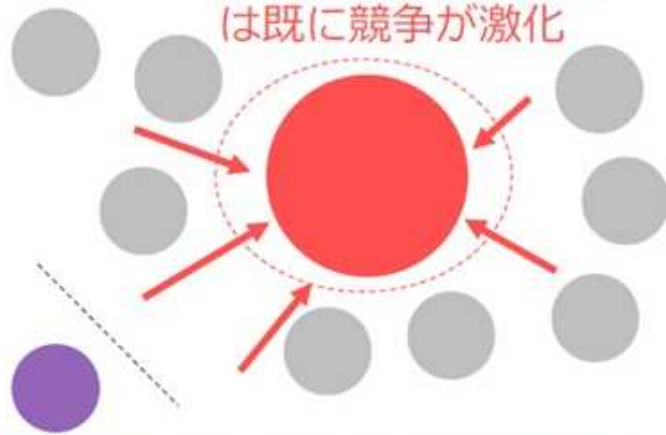
- ✓ 定められた募集締切日時までに応募手続きが完了していない提案については、いかなる理由があっても審査の対象とはいたしません。
- ✓ また、募集締切時刻以降の提案書の差し替え等には応じられません。
- ✓ 締切間際はe-Radにアクセスが集中することでレスポンスが遅くなる可能性がありますので、時間的余裕を十分とって、応募を完了してください。



# 創発的研究とは

## 選択と集中

選択・集中する分野  
は既に競争が激化

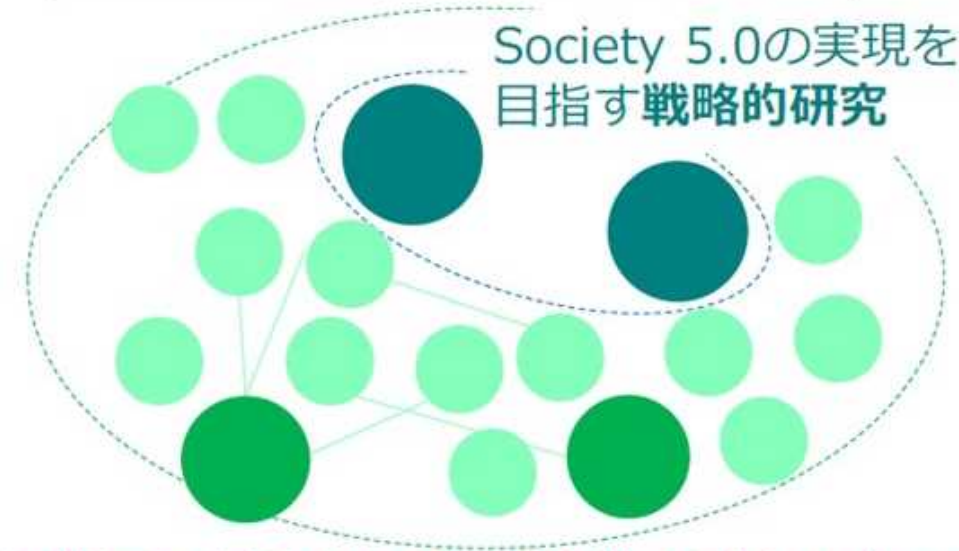


破壊的イノベーションは選択から  
外れた想定外の分野から起きる



## 戦略と創発

Society 5.0の実現を  
目指す**戦略的研究**



課題や短期目標を設定せず、多様性と融合によって  
破壊的イノベーションの創出を目指す**創発的研究**

出展：Society5.0の実現に向けた「戦略」と「創発」への転換（日本経済団体連合会）

創発とは（組織論より）

「個人個人の能力や発想を組み合わせる取組により、ある一定の要件に基づいた予測や意図を超えるイノベーションを誘発する様」



# 創発的研究支援事業の要素

## 破壊的イノベーションにつながるシーズ創出のために、 創発的研究を支援

- ✓ 失敗を恐れない野心的な挑戦への支援
  - 長期的研究費（原則7年・最長10年）
  - 独立した/独立予定の研究者が対象
  - 研究に専念できる環境整備を支援
- ✓ 多様性の向上
  - 多様な研究課題・研究者、国際流動性の向上
- ✓ 融合の促進
  - 創発の場の提供、メンター制度（創発PO・創発AD）



本資料は概要の紹介です。  
応募にあたっては公募要領をお読みください。



# 対象となる研究提案

失敗を恐れず長期的に取り組む必要のある挑戦的・独創的な内容で、以下①～⑤のいずれかに該当するような**破壊的イノベーションにつながるシーズ**を創出する潜在性のある多様な研究課題を求めます。

- ① 新たな科学的・技術的知見の発掘が期待されるもの
- ② 研究の多様性の観点から継続的に取り組まれるべき分野の研究であるもの
- ③ 科学的・技術的知見の「融合」によるブレークスルーや新たな研究領域の創出が期待されるもの
- ④ 革新的な技術の開発が期待されるもの
- ⑤ 研究成果の実利用・普及のための社会やシステムの転換が期待されるもの

(人文科学のみに係るものを除きます)

詳細は、[公募要領 2.1.1 公募の対象となる研究提案](#) へ





# 応募回数

---

- ✓ 2020年度公募に対し、1提案者につき1件のみ応募できます。
- ✓ 本事業は3回（2020、2021、2022年度）公募しますが、計2回しか応募できません。

詳細は、公募要領 2.1.3 応募回数の制限 [へ](#)



# 基本事項

---

- ✓ 研究期間                      原則7年間（最大10年間）  
   フェーズ1（3年間）・フェーズ2（4年間）  
   3年目にステージゲートあり
  
- ✓ 研究費                              5,000万円（上限）  
    (直接経費)                      フェーズ1：2,000万円（上限）  
   (間接費：直接経費の最大30%)
  
- ✓ 採択予定件数                      200件程度  
    (2020年度)

詳細は、公募要領 2.1.6～2.1.8 へ



# 応募要件

---

- ✓ 研究提案者自らの研究構想に基づく研究提案であること
- ✓ 自ら発案した研究構想を実現するために自立して研究を推進できること
- ✓ 所属研究機関において研究倫理教育に関するプログラムを予め修了していること。又はJSTが提供する教育プログラムを応募締切までに修了していること。

詳細は、公募要領 2.1.9 応募要件 [へ](#)



# 応募要件（所属、研究費獲得経験等）

- ✓ 日本国内の研究機関に在籍の上、創発的研究を実施できること
  - ✓ 応募時に日本の研究機関に所属していない研究者は、2021年4月1日までに日本国内の研究機関までに所属し研究開始することを条件として応募できます。また日本国籍を有する研究者については、研究開始の時期を採択後最大2年間猶予します。
  
- ✓ 自己の責任と権限により使用可能な研究費（研究代表者として獲得した研究費）を、過去2年以内に受給していたことがある、又は受給中であること。なお、これに準ずるものとして、過去2年間に研究費を受給していない特段の事情がある場合などは提案書に理由を明記すること。

詳細は、公募要領 2.1.9 応募要件 [へ](#)



## 応募要件（経験）

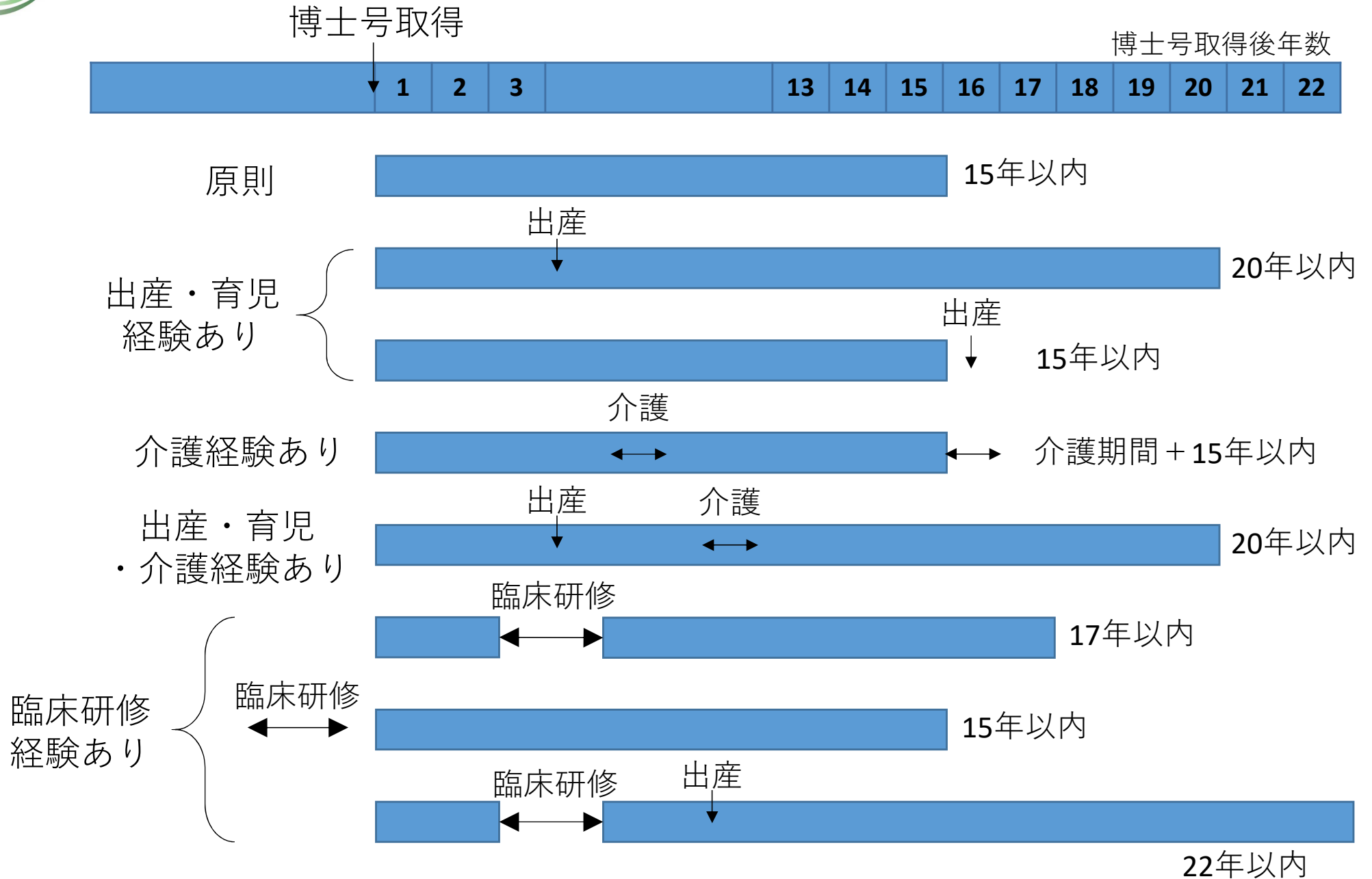
---

- ① 2020年4月1日時点で博士号取得後15年以下
- ② 医学、歯学又は獣医学を履修＋博士課程修了後に臨床研修を修了  
→ 2020年4月1日時点で博士号取得後17年以下
- << 研究に専念できない期間があった場合 >>
- ③ 博士号取得後から15年以内（②17年以内）に、出産・育児の期間  
→ 2020年4月1日時点で博士号取得後20年以下（②22年以下）
- ④ 博士号取得後から15年以内（②17年以内）に介護等の期間  
→ ①および②の条件に当該期間分（最大2年）を引き上げる
- ★ ③＋④の場合、①博士号取得後20年以下（②22年以下）を上限

詳細は、公募要領 2.1.9 応募要件 へ



# 応募要件（経験） <事例>





# 応募要件（研究費の重複制限）

## 研究代表者等として獲得している場合

### <重複制限対象事業>

- ・日本学術振興会所管の事業（科学研究費助成事業）  
特別推進研究、新学術領域研究（研究領域提案型：公募研究除く、領域代表含む）  
学術変革領域研究（A：公募研究除く、領域代表含む）、基盤研究（S）
- ・科学技術振興機構所管の事業  
未来社会創造事業（探索加速型（本格研究）及び大規模プロジェクト型）  
戦略的創造研究推進事業（ERATO、CREST、さきがけ（※））  
ムーンショット型研究開発事業（プロジェクトマネージャーを対象）  
A-STEP（産学共同（本格型、シーズ育成タイプ））
- ・日本医療研究開発機構所管の事業  
革新的先端研究開発支援事業（LEAP、AMED-CREST、PRIME（※））
- ・新エネルギー・産業技術総合開発機構所管の事業  
ムーンショット型研究開発事業（プロジェクトマネージャーを対象）
- ・農業・食品産業技術総合研究機構所管の事業  
生物系特定産業技術研究支援センター（BRAIN）  
ムーンショット型農林水産研究開発事業（プロジェクトマネージャーを対象）



# 応募要件（研究費の重複制限）

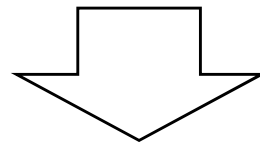
---

## 重複制限対象事業

2021年3月末までに当該研究が終了する予定

## JSTさきがけ & AMED-PRIME

2022年3月末までに当該研究が終了する予定



本年度創発への提案可能です  
研究開始は重複対象事業終了後となります

詳細は、公募要領 2.1.9 応募要件 へ





# 独立に関する条件

---

以下の独立に関する条件を満たすこと、又は原則フェーズ1（3年間）の間に満たすこと

- ✓ 自己の研究に係る論文について、責任著者の立場にあること
- ✓ 大学院生等の指導に責任を持つこと、又は持つ立場にあること
- ✓ 研究グループを組織して研究を行う場合は、そのグループの責任者であること
- ✓ 研究室を持つこと（※）

※ 独立した研究を行うために必要な研究設備や研究を遂行する部屋の管理の責任者であること。

詳細は、公募要領 2.1.9 応募要件 [へ](#)



# 採択後3年以内に満足すべき条件

---

- ✓ 現在、独立に関する条件を満足していなくても応募可能ですが、審査の時点で本条件を満足していない場合、将来的な見通しや独立への意欲等を確認したうえで、最大限の尽力を条件に採択します。
- ✓ 3年目のステージゲートでは、独立に関する条件だけでなく総合的な視点にて研究支援の継続の可否を評価します。

詳細は、[公募要領 2.1.9 応募要件およびFAQ](#) へ



# 選考基準

---

- ✓ 本事業の趣旨に合致しているか
- ✓ 本提案募集の対象となる研究提案であるか
- ✓ 研究提案者自らの構想に基づく研究提案であるか
- ✓ 研究構想を実現しようとする意欲があり、実現の可能性が感じられるか
- ✓ 必要な研究遂行能力及び体制を有しているか

次ページへ続く



# 選考基準

---

- ✓ 研究構想の実現に向けた実践や他の研究者との議論・相互触発の取組等を通じて、新興・融合領域の開拓、関係研究分野の継続的な発展への貢献が期待できるか
- ✓ 創発的研究に遂行にふさわしい研究環境の確保に向けて、必要に応じて研究機関に対し協力を求めたり、調整したりする意志があるか
- ✓ 独立見込み（3年以内）の場合、その可能性が高いか

詳細は、公募要領 2.2.1 選考の観点 へ



# 研究費の使用

---

- ✓ 研究以外の業務の代行に係わる経費（バイアウト制）への支出は年間140万円（上限）とします。
- ✓ 個人研究者自身の人件費への支出は年間70万円（上限）とします。
- ✓ 上述の費用への支出の合計額は、本事業に従事したエフォートの範囲内で上限を年間210万円とします。
- ✓ 当該経費を支出する場合には、別途事務処理説明書において必要な要件や手続きの方法を定めていますので、ご確認ください。

詳細は、公募要領 3.1.3 研究費および事務処理要領（作成中）へ



# 研究環境改善の支援

---

- ✓ 各研究者が所属する研究機関の支援の下で、創発的研究の遂行にふさわしい適切な研究環境が確保されることを目指しています。

例：共有施設の利用、研究時間の確保、研究に専念出来る環境

- ✓ 本事業で支援する研究者が、創発的研究に集中できる研究環境を確保するため積極的かつ秀でた支援を実施した所属機関に対しては、審査のうえ、追加的に当該研究者を取り巻く研究環境改善のための支援を行う予定です。

詳細は、公募要領 3.2.2 研究環境の確保 [へ](#)



# 創発の場 / 創発PO・AD

---

- ✓ 採択された研究者は、創発を興すために定期的に行われる「創発の場※」に参加・発表・議論・運営等を行って頂きます。
  - ※ 知の触発、融合研究の促進、ネットワーク構築
- ✓ 成果の最大化に向け、創発プログラムオフィサーおよび創発アドバイザーの指導、進捗管理を受けます。

創発とは（組織論より）

「個人個人の能力や発想を組み合わせる取組により、ある一定の要件に基づいた予測や意図を超えるイノベーションを誘発する様」

詳細は、公募要領 3.2.3 創発の場 へ



## その他注意事項等

---

- ✓ 応募に際しての注意事項は募集要項第4章に記載していますので、応募前にご確認ください。
  
- ✓ 本事業の応募は府省共通研究開発管理システム（e-Rad）で受け付けます。e-Radでの応募方法や注意事項は募集要項第5章に記載していますので、ご確認ください。





## その他連絡事項（高エネルギー加速器研究機構との連携）

- ✓ 高エネルギー加速器研究機構・物質構造科学研究所・放射光実験施設から、放射光利用に適した課題についてアドバイスを受けられます。また、創発的研究支援事業による研究課題は、高エネルギー加速器研究機構の放射光実験施設等の優先施設利用を受けられます。
- ✓ 施設利用料：標準性能ビームライン 12,800円/時間、高性能ビームライン 25,600円/時間
- ✓ 詳細は、<https://www2.kek.jp/imss/pf/use/program/>
- ✓ 高エネルギー加速器研究機構・物質構造科学研究所・量子ビーム連携研究センターから、放射光を含む、中性子、ミュオン、低速陽電子の複合的な利用（マルチプローブ利用）に適した課題についてアドバイスを受けられます。
- ✓ 詳細は、<https://www2.kek.jp/imss/ciqus/>



---

本資料は概要の紹介です。

応募にあたっては必ず公募要領をお読みください。



# 募集・選考に関する連絡・お問い合わせ

---

募集・選考期間の連絡事項は

創発的研究支援事業の募集ホームページ

<https://www.jst.go.jp/souhatsu/call/index.html>

にて公開しています。

ご不明な点がございましたら、募集ホームページに記載している  
問合せ先へご連絡ください。

souhatsu-application @ jst.go.jp